

一般質問

11月定例会議

12/1、12/4の4日間にわたり17人の議員が一般質問を行い、市政全般について活発な議論が交わされました。ここでは、質問・答弁の要旨を掲載しています。
※原則として平成の元号は省略しています。

中村 博美
NAKAMURA HIROMI
●避難指示の出し方
避難指示が抜け落ちた上三坂地区。適切に指示が出ていれば尊い2名の命も救うことができたのではないだろうか。



P.13

関 優嗣
SEKI MASASHI
●八間堀川決壊
今まで先送りになってきた八間堀川の整備。この決壊がなければと嘆く声。今後、改修・整備はどう進むのか？



P.13

寺田 洋
TERADA HIROSHI
●防災協定
今回の水害を踏まえて、これまでの防災協定では足りなかった部分は何か。今後、必要な協定を結んでいくべきだ。



P.14

坂野 茂実
SAKANO SHIGEMI
●美妻橋下流右岸の堤防
堤防高が不足しているこの堤防。橋の架けかえがなければ整備されないのか。住民の不安はつるばかりだ。



P.14

中島 亨一
NAKAJIMA RYOICHI
●関東・東北豪雨災害
避難指示は空振りだったかまわらない。いち早く指示を出すべきだ。大切なのは市民の生命と財産を守ること。



P.15

倉持 守
KURAMOCHI MAMORU
●圏央道常総インターチェンジ周辺整備事業
地権者の意向を十分に反映すべき。早期に進めて、早く復興してもらいたい。



P.15

大澤 清
OSAWA KIYOSHI
●被災した地域の公民館
地域住民が集う拠点である公民館。早期に復興することが重要だ。行政の手厚い補助をお願いしたい。




P.16

茂田 信三
SHIGETA SHINZO
●大水害は人災
若宮戸の無堤地帯は、築堤の要望があったにも関わらず放置されてきた。これはまさに人災ではないのか。



P.16

石川 栄子
ISHIKAWA EIKO
●豪雨災害から考える問題
①被災者生活再建支援の拡充、②建築廃材の処理費、③農業関係補償の問題、④防災無線の不備について。



P.17

堀越 道男
HORIKOSHI MICHIO
●災害救助法・被災者生活再建支援法
被災者にもっと手厚い支援が必要。市長を先頭に「オール常総」の意識高揚を!!



P.17

金子 晃久
KANEKO TERUHISA
●豪雨災害について
人間は必ずしも完璧ではない。あの未曾有の災害を今後の市民生活に生かせるよう、今回質問する。



P.18

中村 安雄
NAKAMURA YASUO
●市民の広場+カスミ跡地
今回の水害で水没しなかった市民の広場。カスミ跡地もプラスして、水害に遭わない多目的施設の早期建設を!!



P.18

岡野 一男
OKANO KAZUO
●災害見舞金
何の過失もなく被害をこうむった方々。5万、3万円で家電をそろえることはできない。被災者を救うのが行政ではないか？



P.19

小林 剛
KOBAYASHI TAKESHI
●大規模避難所を西側に
西側、東側という新たな考え方が必要。防災センターを備えた大規模避難所にもなる複合施設を西側に建設すべきだ!!



P.19

遠藤 章江
ENDO FUMIE
●災害における行政対応と今後の行政運営
ハザードマップ、災害時の職員動員体制、防災協定、今後の行政運営について。




P.20

遠藤 正信
ENDO MASA NOBU
●水害に伴う二次感染対策
水害後、環境は劣悪。肺炎球菌、インフルエンザ、破傷風といった感染症について市は対策を考えているのか？



P.20

新田 宏安
NITTA HIROYASU
●当初政策の見直し・変更
西部地区は西部地区で生活があり要望もある。今回の災害で忘れ去られてはならない。予算はまわってくるのか？



P.21